

[021] 九州ドイツ文学表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/21877>

出版情報：九州ドイツ文学. 21, 2007-12-05. 九州大学独文学会
バージョン：
権利関係：

目 次

〔論文〕

- 「献辞」における「曇ったまなざし」
—『色彩論』から見た『ファウスト』における「曇り」の構造原理の一考察—
……………平 松 智 久… 1
- 「渾沌とした形式」としての〈渦〉
—アイヒェンドルフ『予感と現前』における「ロマン」の模索—
……………水 守 亜 季… 37
- 市民的言語と〈ざわめき〉
—Th.マン『ブッデンブロック家の人びと』におけるリアリズムの言語形式の限界—
……………坂 本 彩希絵… 65
- フランツ・カフカ『訴訟』
—〈生きること〉としての、そして〈書くこと〉としての「訴訟」—
……………下 蘭 り さ… 99
- 詩人的生の受胎
—ミュージル『生徒テルレスの惑乱』における〈理念〉の形成—
……………清 原 明 代… 129
- アジアにおけるヘッセ受容
—韓国を中心に— ……竹 岡 健 一… 145
- 『九州ドイツ文学』総目次 …… 155
- 総会・研究発表記録、会員名簿、その他… 169
- 『美しい魂の告白』とヘルンフト同胞教団 ……伊 藤 利 男… (1)
- 水の女をめぐる「翻訳」論
—ホメロス『オデュッセイア』とフケー『ウンディーネ』—
……………小 黒 康 正… (33)
- ## 〔翻訳〕
- カントとケーニヒスベルク
—カント生誕二五〇周年記念— (一)
……………フリッツ・ガウゼ (武田輝章・知念 潔訳)… (59)